

目次

巻頭言	1
廣重 力	
総説	
冬眠研究の最近の話題 —睡眠ホメオスタシス仮説の展開—	3
井深 信男	
オレキシンと睡眠・覚醒の制御	13
桜井 武	
多振動体のカップリング(培養細胞からヒトまで) ：卵巣ステロイドホルモンの影響	20
篠原一之・本間研一・貴邑富久子	
ゆらぎと休息：能動機能としての呼吸性洞性不整脈	27
早野 順一郎	
児童・生徒・学生の生活リズムと睡眠習慣についての疫学的研究	36
原田哲夫・竹内日登美	
技術ノート	
半携帯式 24 時間自動採血装置とその応用	47
朽久保 修	
海外レポート	
1.ハーバード大学部医学部・概日神経内分泌睡眠障害研究部門	52
高橋 正也	
2.マサチューセッツ州立大学メディカルスクール Schwarz ラボ留学記	56
三留雅人	
3.ノースウエスタン大学 J.Takahasi ラボ	60
下村 和宏	
関連集会報告	
1.日米シンポジウム「概日時計の分子機構：時計遺伝子の機能」参加報告	62
吉川 朋子	
2.Scott Campbell 教授とMichael Terman 教授を迎えて	65
内山 真	
研究室紹介：秋田大学医学部公衆衛生学講座	68
本橋 豊	
山口大学時間学研究所 (Research Institute for Time Studies:RITS)	70
富岡 憲治	
第7回日本時間生物学会学術大会報告	74
大塚 邦明	
第9回日本時間生物学会運営委員会 議事録	76
2000 年度会計中間報告	78
2001 年度予算	79
日本時間生物学会会則	82
執筆者のプロフィール	85
執筆要領	88